

FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-O IaaS プライベートリソース サービス仕様書

2022年2月16日

1. サービス概要

本サービスは、契約者が専有するコンピュータ等設備等（以下「専有リソースプール」という）を提供します。契約者は、別途書面による申し込みを行うことで、専有リソースプールを利用できます。専有リソースプールは他の契約者と共有されることはありません。

2. サーバ/ストレージ専有型プライベートリソースサービス

(1) 条件

当社は、一定の地理的範囲に設置されたコンピュータ等設備等の集合（以下「リージョン」という）において、データセンター設備やサービス提供用設備等の物理的な施設を共有する単位（以下「アベイラビリティゾーン」という）毎に本サービスを提供します。契約者は、以下のリージョンおよびアベイラビリティゾーンから任意のものを選択することができます。

リージョン	アベイラビリティゾーン
東日本リージョン3	jp-east-3
西日本リージョン3	jp-west-3

なお、本サービスはFUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-O IaaS ガバメントクラウドサービスに記載されたサービスと同時に契約することはできません。

(2) 専有仮想サーバ

物理的なコンピュータを仮想化技術によって分割することで、独立した基本ソフトウェア（以下「OS」という）を動作できる論理的なコンピュータ（以下「仮想サーバ」という）を提供します。当社は、仮想サーバを作成することのできる物理サーバを専有リソースプールとして提供します。専用リソースプールは解約するまでの間、申込により増やすことはできても減らすことはできません。

a. 専有仮想サーバリソースプールタイプ

契約者は、下記記載のいずれかのタイプの専有リソースプールを利用できます。当社は、本機能に用いられる専有ハードウェアの老朽化等により、事前通知をもって本仕様の変更、または契約者の責任において新しいタイプの専有リソースプールに移行する場合があります。

(ア) スタンダードCPUタイプ (DS1)

項目	仕様
仮想 CPU 数	288
メモリ	672GB
1 リソースプールあたりの物理サーバ数	6 台（故障予備を含まず）

上記は専有可能な物理サーバの合算値（最大値）であり、契約者の配備する仮想サーバの組み合わせによっては最大数までご利用できない場合があります。

(イ) ハイスピードCPUタイプ (DH1)

項目	仕様
仮想 CPU 数	540
メモリ	2480GB
1 リソースプールあたりの物理サーバ数	5 台（故障予備を含まず）

上記は専有可能な物理サーバの合算値（最大値）であり、契約者の配備する仮想サーバの組み合わせによっては最大数までご利用できない場合があります。

b. 仮想サーバ

- ・ 契約者は、FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-O IaaS サービス仕様書に記載されるいずれかの仮想サーバタイプと同じ仮想サーバスペースの仮想サーバを作成することができます。このとき仮想サーバタイプは、末尾に「.d」のつく名称となります。

(例) 仮想サーバタイプ S3-1 → S3-1.d

- ・ 仮想アプライアンスにおいては、FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-O IaaS サービス仕様書で動作保証対象としている仮想サーバタイプの末尾に「.d」のつく仮想サーバタイプを利用することによって、専用リソースプールに仮想アプライアンスを配備することができます。なお、対象の仮想アプライアンスは下記の通りです。

・ IPCOMVE2m

- ・ FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-O IaaS サービスにおいて作成した仮想サーバタイプ (例: S3-1) を本サービスにおいて利用することはできません。
- ・ 契約者は、作成した仮想サーバを、随時解放できます。なお、仮想サーバの状態に応じて下表のとおり料金が発生します。

状態	内容	料金発生の有無
起動	仮想サーバが起動している状態	発生する
停止	CPU およびメモリ資源を解放せず仮想サーバの OS をシャットダウンした状態	発生する
解放	CPU およびメモリ資源を解放した状態	発生しない

- ・ 契約者は、利用中の仮想サーバの仮想サーバタイプを、別の仮想サーバタイプに随時変更することができます。ただし、仮想サーバタイプの変更には、仮想サーバの停止が必要となります。
- ・ 仮想サーバを作成した場合、仮想サーバを仮想ネットワークに接続するための、IP アドレスとの関連付けを行うポートが一つ作成されます。
- ・ 専用リソースプールは解約するまでの間、申込により増やすことはできても減らすことはできません。

(3) 専有ブロックストレージ

物理的なストレージを仮想化技術によって分割することで、仮想ストレージを提供します。当社は、仮想ストレージを作成することのできる物理ストレージを専有リソースプールとして提供します。専有リソースプールは解約するまでの間、申込により増やすことはできても減らすことはできません。

a. 専有ブロックストレージリソースプールタイプ

契約者は、下記記載のタイプの専有リソースプールを利用できます。

(ア) ブロックストレージリソースプール (DBS1)

契約者が 1GB~16TB の範囲で任意指定した容量分を 1GB 毎に割り当てて、システムストレージおよび増設ストレージとして利用できます。最大配備可能リソースは 225TB です。最大配備可能リソース内の利用においても利用の状況に応じて一時的に仮想ストレージの作成に制限が発生する場合があります。

契約者が最大配備可能リソースを超えたブロックストレージを作成した場合、専有ブロックストレージの動作は保証されません。

b. ブロックストレージ

OS やデータを搭載するためのブロックストレージを提供します。契約者が 1GB~16TB の範囲で任意指定した容量分を 1GB 毎に割り当てて、システムストレージおよび増設ストレージとして利用できます。

- ・ 契約者は、FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-O IaaS サービス仕様書に記載されるブロックストレージタイプ相当のブロックストレージを作成することができます。このときブロックストレージタイプは、末尾に「.d」のつく名称となります。

(例) ブロックストレージタイプ M2 → M2.d

- FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-O IaaS サービスにおいて作成したブロックストレージタイプ（例：M2）を本サービスにおいて利用することはできません。

3. サーバ専有型プライベートリソースサービス

(1) 条件

契約者は、以下のリージョンおよびアベイラビリティゾーンから任意のものを選択することができます。

リージョン	アベイラビリティゾーン
東日本リージョン1(※1)	jp-east-1a
	jp-east-1b
東日本リージョン2(※1)	jp-east-2a
	jp-east-2b
西日本リージョン1(※2)	jp-west-1a
	jp-west-1b
西日本リージョン2	jp-west-2a
	jp-west-2b

(※1) 東日本リージョン1、東日本リージョン2 は同じ地域の設備です。災害対策として複数リージョンを利用される場合、他のリージョンと組み合わせてください。

(※2) 西日本リージョン1の新規申込の受付は休止しています。

(2) 専有仮想サーバ

物理的なコンピュータを仮想化技術によって分割することで、独立したOSを動作できる仮想サーバを提供します。物理サーバ1台につき、下記のリソースを利用できます。当社は、仮想サーバを作成することのできる物理サーバを専有リソースプールとして提供します。

項目	仕様
仮想 CPU 数	40
メモリ	250GB

契約者は、FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-O IaaS サービス仕様書に記載されるいずれかの仮想サーバタイプを選択し、作成することができます。

なお、仮想サーバは下記OSのみ動作できます。

- Windows Server
- Red Hat Enterprise Linux

(3) 専有仮想サーバ for SAP

物理的なコンピュータを仮想化技術によって分割することで、独立したOSを動作できる仮想サーバを提供します。物理サーバ1台につき、下記のリソースを利用できます。当社は、仮想サーバを作成することのできる物理サーバを専有リソースプールとして提供します。

項目	仕様
仮想 CPU 数	42
メモリ	245GB

以 上

附則（2020年7月1日）

本サービス仕様書は、2020年7月1日から適用されます。

附則（2020年8月3日）

本サービス仕様書は、2020年8月3日から適用されます。

附則（2020年10月1日）

本サービス仕様書は、2020年10月1日から適用されます。

附則（2021年9月1日）

本サービス仕様書は、2021年9月1日から適用されます。

附則（2022年2月16日）

本サービス仕様書は、2022年2月16日から適用されます。